

経営比較分析表（令和3年度決算）

徳島県 つるぎ町

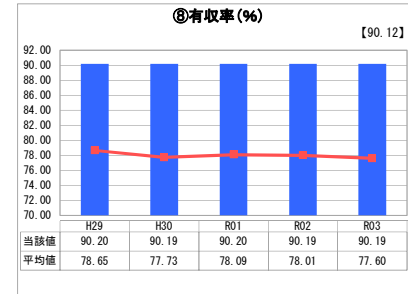
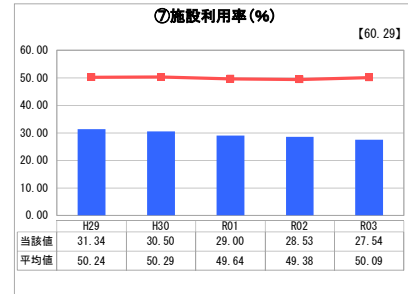
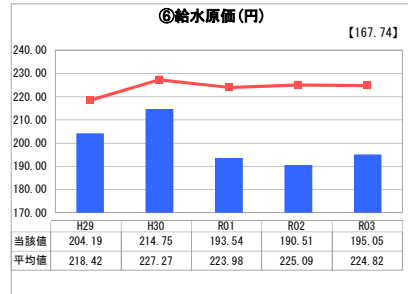
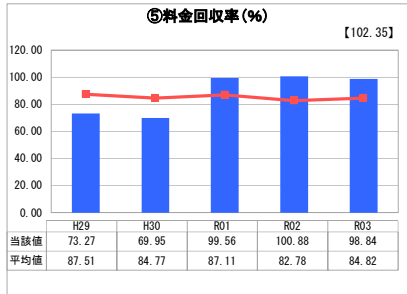
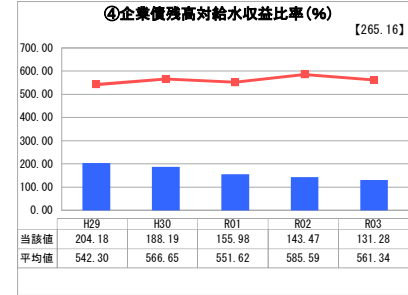
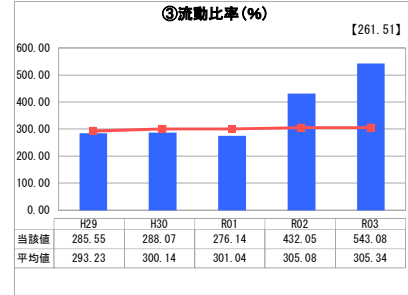
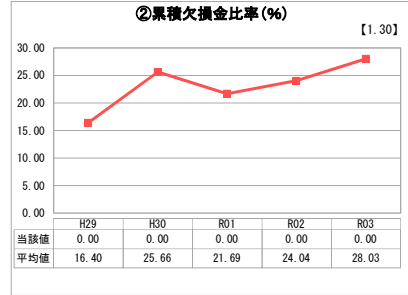
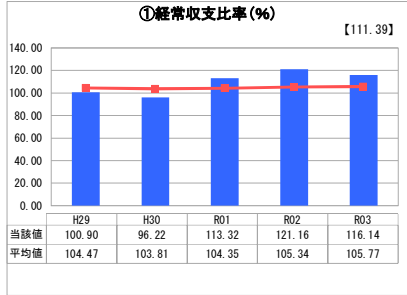
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	85.05	88.18	3,790	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,161	194.84	41.89
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,118	49.04	145.15

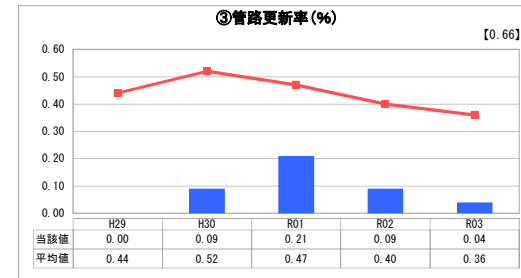
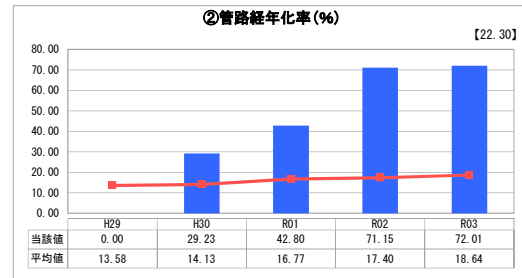
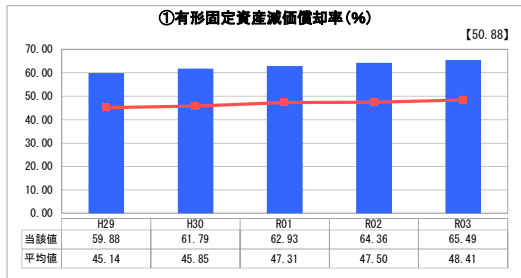
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、流動比率ともに100%を上回っており、累積欠損比率を生じていないため健全性は確保されている。企業債残高対給水収益比率は現在のところ大きな変動はないが、今後、施設の更新や整備にかかる企業債借入の増加が見込まれる。料金回収率・給水原価・有収率は類似団体平均値より優位であるが、施設利用率は3割を割り込んでいる状況である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率・管路経年化率ともに上昇傾向にあり老朽化が進行している。平準化を念頭に効果的・効率的な投資を行う必要がある。

全体総括

経営に関する各指標はほぼ健全な数値を示しているが、給水人口の減少に伴い料金収入も減少傾向にあるため、一層の経費削減に努め継続的な安定経営を目指す。管路の老朽化が顕著であるため、当面は修繕または急を要するものには更新等に対応しつつ、更新事業及び管理運営両面のバランスに留意し適正な規模で検討する。